

キャリア 勤労観

プロフェッショナル 仕事の流儀 新型インフルエンザを食い止める WHOメディカルオフィサー 進藤奈邦子

放送日：2009年9月29日 放送時間：48分



対象校種 小学校高学年 中学校 高校

対象教科 総合 道徳 学級活動

この番組の良さ



● 未知のウイルスと戦う

2009年新型インフルエンザ発生の際、人類は未知のウイルスにどのように立ち向かい、どう戦ったのでしょうか。番組では一人の日本人女性に焦点を当てて迫ります。

その女性の名前は、進藤奈邦子さん。現在もWHO（世界保健機関）メディカルオフィサーとして、様々な感染症対策のリーダーとして活躍されています。

● 困難に自分はどう立ち向かうか

未知のウイルスという困難に立ち向かうだけでなく、その医療に関わる方々の命を守る立場にある進藤さん。その生き様から、仕事のプロとして困難に打ち勝つための取組や、くじけない心の源を知ることができます。番組を通じて、自分と仕事との向き合い方や、生き方を見つめ直すことができます。

番組活用のポイント

● 主体的に生きるために必要なことは何か？

2020年11月現在、世界各地で新型コロナウイルス感染症による被害が広がっています。一年前には思いもよらなかった世界になり、私たちの生活は大きく変化しました。このような社会の大きな変化の中にいる私たちは、まさに新学習指導要領で示されたとおり、予測困難な社会を主体的に生きていくための力を付けることが求められています。

本番組を活用するにあたっては、「主体的に生活するために自分はどうか」ということをテーマに置き、学習を進めると効果的です。番組を通じて、自ら取捨選択し、くじけず諦めず自分の人生を生きていき、自分らしく生きるために何が必要か考えるきっかけとすることができます。時間が許せば、全視聴をお薦めします。

● 国難ともいえる事態に、 冷静に対応する力を付ける！

感染者に対する偏見や差別、誹謗中傷をなくすためには、ウイルスについて正しく理解し、正しく対処する力を培うことが必要です。冷静に判断し、適切に対応する力を身に付けるためにも、本番組を活用するだけでなく、保健体育科や学級活動で、感染症について学習するとともに、道徳科で心を耕す学習をしていく必要があります。

ティーチャーズ・ライブラリーの差別について考える番組「道徳ドキュメント キミならどうする？ちがうことを ふつうに」を活用するのも効果的です。ぜひ、児童生徒の実態に応じて活用してください。



執筆者
西条市立神戸小学校
教頭 山内雅博

学習展開例

対象校種 小学校高学年 中学校 高校

対象教科 総合 道徳 学級活動

困難に立ち向かうとき、あなたは どうする？

[授業時間 90分] 部分視聴

児童・生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>自分がかかるかもしれない危険な仕事。 未知のウイルスに立ち向かう難しい仕事。 人類の命を救う重要な仕事と大きな責任がある。</p> <p>WHO (世界保健機関) でメディカルオフィサーとして、働く進藤奈邦子 (しんどう なほこ) さんという人がいる。</p>  <p>どうして、進藤さんは、責任が重く、困難な仕事にもくじけずに取り組んでいるのだろうか？</p> <p>〔利益〕 そういう仕事だからお金のため 〔奉仕〕 世界のみんなのために役に立ちたい世の中のため 〔責任感〕 みんなの命を救う為に、自分がやるしかない 〔夢・希望〕 自分の夢だから、挑戦する</p> <p>進藤さんが、感染症対策という困難な仕事にどのように立ち向かっているのかも知りたい！</p>  <p>番組部分視聴 (初め～11分まで) (13分12秒～19分31秒まで) (25分25秒～終わりまで) 計35分</p> <p>進藤さんは、自分が感染するかもしれないリスクがある中でも、医療現場に目を配るなど、広い視野をもち的確に対応している。人類を感染症から守るために、困難な仕事でも着実に取り組み、成果を上げている。</p> <p>未知の困難に立ち向かうには、何が必要かについてグループで話し合う。</p> <p>情報を集め、準備を進めること 何度失敗してもくじけず、諦めない心 自分のしていることに自信をもち、仕事に誇りをもって取り組むこと まず挑戦し、やってみることに。失敗はない。失敗を生かす姿勢</p> <p>弟の病死をきっかけに、自分自身の本当にやりたいことを見つめ直し、医者という仕事を選んだ。一人でも多くの命を救うために、成功するまで諦めず、失敗を生かしながら仕事に取り組んでいる。</p> <p>自分が未知の困難に立ち向かうことになったときに、自分ならどうするか考え、話し合う。レジリエンス、くじけない心、あきらめない心、回復力。失敗はない。失敗・経験を生かす。</p> <p>未知の困難にであったとき、解決方法の正解はない。何度失敗しても諦めず、失敗を生かしながら成功に向けて取り組むことが大事だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WHO (世界保健機関) や感染症について、調べ学習の時間を設定し、感染症対策の困難さや大変さについて確認する。 ・進藤さんの写真を提示し、WHOで、感染症対策のリーダーとして活躍されていることを伝える。 ・「進藤さんが、命に関わるような責任が重く、困難な仕事に取り組んでいるのはなぜか」問い、〔利益〕〔奉仕〕〔責任感〕〔夢・希望〕などの観点ごとに整理する。 ・進藤さんの仕事や生き方をまとめている番組があることを伝える。 ・児童・生徒の求めに応じて、番組を紹介し、部分視聴する。 ・番組視聴では、進藤さんの仕事への取り組み方や考え方から、心に残った部分をメモしながら視聴するように伝える。 ・自分の考えを書く時間を設定し、タブレット端末に記入するなどして、全体で共有する。 ・未知の困難に立ち向かうには何が必要か問い、グループで話し合う場を設定する。 ・意見交流する時間を設定し、自分の生き方や仕事への見方・考え方を広げる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進藤さんの仕事への取り組み方や生き方から、仕事への見方や考え方を広げるとともに、困難に立ち向かうにはどうしたらよいか考えることができたか。